

祈りで読み解く聖書 (聖書人になりたい・シーズン6)

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

祈りで読み解く聖書

新約聖書の手紙の中に
書かれている祈りを通して
聖書全体を探る

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

どうか～してくださいますように

"兄弟たち。あなたがたについて、私たちはいつも神に感謝しなければなりません・・・あなたがたの信仰が大いに成長し、あなたがたすべての間で、一人ひとりの互いに対する愛が増し加わっているからです・・・あなたがたはあらゆる迫害と苦難に耐えながら、忍耐と信仰を保っています。"

1章3～4節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

オリブ山の説教 (マタイ24: -25:)

"イエスがオリブ山で座っておられると、弟子たちがひそかにみもとに来て言った。「お話しください。いつ、そのようなことが起こるのですか。あなたが来られ、世が終ある時のしるしは、どのようなものですか。」"

マタイの福音書 24章3節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

オリブ山の説教 (マタイ24：-25：)

"そのとき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。
また、あたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。
そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。
また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。
不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。
しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。"

マタイの福音書 24章9～13節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

オリブ山の説教 (マタイ24: -25:)

"御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終末が来ます。それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす忌まわしいもの』が聖なる所に立っているのを見たら—読者はよく理解せよ—"

マタイの福音書 24章14～15節

"しかし、エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら、そのときには、その滅亡が近づいたことを悟りなさい。"

ルカの福音書 21章20節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

不法の者、滅びの子

"どんな手段によっても、だれにもだまされてはいけません。まず背教が起こり、不法の者、すなわち滅びの子が現れなければ、主の日は来ないのです。" 2章3節

"不法の者は、サタンの働きによって到来し、あらゆる力、偽りのしるしと不思議、" 2章9節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

復讐の日 正しい裁きの日

“・・・あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国のためです。神にとって正しいこととは、あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えることです・・・” 1章5～7節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

主の栄光の日

"それは、私たちの神であり主であるイエス・キリストの恵みによって、私たちの主イエスの名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主にあって栄光を受けるためです。" 1章12節

"どうか、平和の主ご自身が、どんな時にも、どんな場合にも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてとともにいてくださいますように。" 3章16節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

主はいつもとともにいる

"どうか、平和の主ご自身が、どんな時にも、どんな場合にも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてとともにいてくださいますように。" 3章16節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

良いあざとことばに力かむ

"ですから兄弟たち。堅く立って、語ったことばであれ手紙であれ、私たちから学んだ教えをしっかりと守りなさい。・・・あなたがたの心を慰め、強めて、あらゆる良いあざとことばに進ませてくださいように。"

テサロニケ人への手紙 第二 2章15～17節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

手紙の全体構造

1: - 2: テサロニケ教会の模範

3: なすべきこと

3: 1-5 悪者から守られる

3: 6-15 怠け者を戒める

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

怠け者を戒める

"兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によって命じます。怠惰な歩みをして、私たちから受け継いだ教えに従わない兄弟は、みな避けなさい。" 3章6節

"そのような人たちに、主イエス・キリストによって命じ、奮めま
す。落ち着いて仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。"
3章12節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

自分の手で働く

"また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をし、自分の仕事に励み、自分の手で働くことを名誉としなさい。外の人々に対して品位をもって歩み、だれの世話にもならず生活するためです。"

テサロニケ人への手紙 第一 4章11～12節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

タラントを預かった者のたとえ (マタイ25:)

"...『よくやった。良い忠実なしもべだ。...』"

マタイの福音書 25章21節

"...『悪い、怠け者のしもべだ。...』"

マタイの福音書 25章26節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

正しい人は人に与えて惜しまない

"怠け者の欲望はその身を殺す。その手が、
働くことを拒むからだ・・・

しかし、正しい人は人に与えて惜しまない。"

しん言 21章25～26節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

心をひとつにして財産を共有する

"信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、財産や所有物を売っては、それぞれが必要に応じて、皆に分配していた。"

使徒の働き 2章44～45節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

受けるよりも与えるほうが幸いである

「あなたがた自身が知っているとおりに、私の両手は、自分の必要のためにも、ともにいる人たちのためにも働いてきました。

このように労苦して、弱い者を助けなければならぬこと、また、主イエスご自身が『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを、覚えておくべきだということを、私はあらゆることを通してあなたがたに示してきたのです。」

使徒の働き 20章34～35節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

御国を受け継ぐ者

"それから王は右にいる者たちに言います。『さあ、あたしの父に祝福された人たち。世界の基が据えられたときから、あなたがたのために備えられていた御国を受け継ぎなさい。あなたがたはあたしが空腹であったときに食べ物を与え、渇いていたときに飲ませ、旅人であったときに宿を貸し・・・いつ私たちは、あなたが病気をしたり牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。』

すると、王は彼らに答えます。『まことに、あなたがたに言います。あなたがたが、これらのあたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、あたしにしたのです。』"

マタイの福音書 25章34～35, 39～40節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

強くあれ 良いあざとことばに励め

"どうか、私たちの主イエス・キリストと、私たちの父なる神、すなわち、私たちを愛し、永遠の慰めとすばらしい望みを恵みによって与えてくださった方ご自身が、あなたがたの心を慰め、強めて、あらゆる良いあざとことばに進ませてくださいように。" 2章16～17節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

強くあれ 主はとともにいる

"どうか、・・・あなたがたの心を慰め、強めて・・・"

2章17節

"・・・どうか、主があなたがたすべてとともにいてくださいますように。"

3章16節

#12 テサロニケ第2・主が来る日の平和

みことばに生きる聖書人が
生まれ増えていきますように

ちょっと難しい内容かもしれませんが・・・
チャンネル登録と高評価で応援お願いします